

購買職

購買職の仕事



会社の利益に直結する、交渉力

購買の仕事を一と言でいうと、国内外を舞台に貴金属地金の調達先を決定する業務です。会社の利益に直結する根幹的な部分を担う仕事と言えるでしょう。具体的には、まず社内での生産に必要な貴金属地金を調達するための条件を国内外の鉱山会社や商社から引き出し、生産現場である工場と折衝しながら、購入した材料の納期を決定していきます。調達条件を引き出す際には、安定的な供給、かつ競争力のある価格条件で調達できるように交渉力が求められます。

貴金属のプロフェッショナル

購買の中心部署である地金部では、調達や輸入だけでなく貴金属地金の輸出も業務として行います。そのため、地金の輸出入に係る売買契約の締結や為替予約、輸出入書類の作成といった貿易業務も発生し、事務手続きの専門知識やノウハウの蓄積が必要で、プロフェッショナルとしての経験を積める最前線の仕事環境があります。



常に世界と向き合う



貴金属の売買をより効率的にスムーズに推進するには、市場の動きにも敏感でなければなりません。貴金属市場および相場の動向調査、海外を含めた販売先への訪問による顧客ニーズの把握、同業他社を含む関係団体への情報収集をはじめ、毎年定期的開催される国際会議への参加などを通して幅広く市場の動きを把握し、これらをもとにお客様や社内への相場情報の提供も行っています。このように常に世界と向き合い、ダイナミックかつ繊細に貴金属を扱う仕事、それが購買職の醍醐味と言えるかもしれません。

購買職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A 海外の鉱山会社や日本国内の商社などからプラチナ原材料を調達し、受注に合わせて値決めを行う仕事です。また、海外にも販売しています。貴金属の価格は常に変動しているので、リアルタイムの情報を端末で確認して購入をしています。海外から市場調査会社の方が来社されることもあり、その際は業界のデータを提供したり、市場の情報を教えてもらったりとお互いに情報をシェアします。

Q 仕事でやりがいを感じたでき事は何ですか。

A 海外のお客様から何度も引き合いがありました。量・価格・納期の条件が合わず、なかなか取引が成立しませんでした。その後も諦めずにお客様と連絡を取り続け、材料を効率よく回転させる方法を考えたり、関係各部署に協力を要請し、1年かけてなんとか販売契約を結ぶことに成功！私にとって、忘れられない案件になりました。

Q 徳力本店へ入社をして嬉しかったことはありますか。

A 以前、結婚が決まった友人から嬉しそうに「結婚指輪はこれにしたの！」と指輪のパンフレットを見せてもらいました。実はその指輪の販売会社は当社の取引先だったんです。だから、思わず「このプラチナ私が調達したやつかもよ」って伝えたら、とても喜んでくれました。私もまさかそんなところで友人と繋がりを持つとは思わなかったのですごく嬉しかったです。

Q 徳力本店に入社を決めた理由を教えてください。

A ニュージーランドでの留学経験があった私は【英語を活かせる、常に学べる、日本のものづくりメーカー】の3つの優先順位を決めて就職活動をしていました。そのときに出会ったのが徳力本店でした。英語を使った海外とのやり取りも多く、マーケットを相手に常に自分が学べる環境であり、歴史あるものづくりメーカーである。私の希望する条件が全て叶う！と思い入社を決めました。

事務職

事務職の仕事



「提案型」事務職

当社の事務職は、主に総務課、人事課、経理課、システム室の4部署になります。事務職というと保守的なイメージを持つ方が多いかもしれませんが、当社の事務職は「提案型」の事務職と言えます。その仕事をほんの一部ですがご紹介します。



総務課・人事課の仕事

- ・総務課は、会社組織全体を円滑に動かすためにさまざまな業務を担当します。業務範囲も幅広く、会社を支えている実感が味わえ、責任とやりがいがあります。
- ・人事課の仕事内容は、給与・賞与の計算、社会保険関係の手続きなどの労務管理、計画に基づく必要人員の採用活動などを行うことです。また、モチベーションを高く働き続けてもらうための「制度の企画・立案」も行います。



経理課・システム室の仕事

- ・経理課の仕事は、主に決算業務、当社のお金の流れの管理です。また、経営層の意思決定に関わる分析資料を作成し報告することから、経営層との距離が最も近いポジションの一つと言えます。
- ・システム室の仕事は、当社のIT環境全体の管理は勿論のこと、自社のビジネスをシステムの側面からより円滑に推進するための提案をすることです。システムは独自開発のため、自由な発想で開発できる魅力があります。



SE職

社員インタビュー



Q どのようなお仕事をされていますか。

A 社内基幹システム開発・保守・管理、サーバー機器管理・ネットワーク管理等、社内SEとしてITに関わる全てのことを担当しています。この部署自体は4名ですが、基本的にPCを利用している全部署の社員と関わることになります。

Q 入社直後に感じた徳力本店の印象を教えてください。

A 風通しがいい職場で、「まず挨拶はきちんとしましょう」という教えのもと、社長が率先して社員に挨拶をされていて、通りすがりや近くに来た際に全員に話しかけたりします。だからこそ社員同士のコミュニケーションも多いですね。

Q 大変だったお仕事の思い出などはありますか。

A システム統合から各部署の大きな編成に伴う様々な調整までを限られた時間・人員で対処しました。手探りではありましたが、全力を尽くし、充実感がありました。チームとして一緒にひとつのことを乗り越えられて大きな達成感を感じ、プロジェクトが落ち着いたころ、上司がねぎらいの言葉をかけてくれたのは嬉しかったです。忙しかったからこそ充実していたのだと思います。

Q 現在感じる徳力本店とは、どのような会社でしょうか？

A 創業約300年の歴史はそれだけでも凄いことですが、社会の変化に合わせて変化・成長している会社だと感じました。そのような会社だからこそ、成長性・安定性が一番の魅力です。仕事面では社内システムを活かして会社に貢献できるというところにやりがいを感じています。社内システム利用者の声が近くで聞けて、良い悪いをきちんと理解できるので、自分の成長にもつながると感じました。